

北地区コミュニティ まちづくり計画



北地区コミュニティ運営協議会

# 北地区コミュニティまちづくり計画 目次

## I. 北地区の概要

1. 北地区の特性(地理・観光・歴史・文化・行事等)
2. 北地区の年代別人口の推移
3. 地域の主な問題・課題
  - (1) 青少年の健全育成と防犯対策
  - (2) 西鉄天神大牟田線の高架事業に伴う交通安全対策
  - (3) 御笠川越流の危険からハザードマップの作製と地区での防災訓練
  - (4) 高齢者支援や認知症の理解など地域で見守り支えていく環境づくり
  - (5) 遊歩道が整備された御笠川の景観の保全
  - (6) 子育てから高齢者までの世代間を越えた交流

## II. 地域の将来像

「みんなが安全で安心して暮らせるまち」

## III. 地域の目指す姿

- (1) 安全安心な地域防災活動のできるまち
- (2) 子育て家庭への共に思いやり支え合うまち
- (3) 高齢者が健康で楽しく過ごせるまち
- (4) 世代間を越えた交流・連携ができるまち
- (5) 地域の発展と情報が伝達できるまち
- (6) 自然環境を守り美しいまち

## IV. まちづくりの具体計画

# 北地区コミュニティ まちづくり計画

## I. 北地区の概要

### 1. 北地区の特性(地理・観光・歴史・文化・行事等)

#### 地理

北地区は、大野城市の北部に位置し、福岡市博多区、春日市と隣接、福岡都市高速道路と並行して国道3号線、県道112号線（旧国道3号線）の主要幹線道路、西鉄天神大牟田線が縦断し交通の利便性に恵まれ、住宅地、商業地、農地、工場地が混在する地域です。

東から北流する御笠川（総延長 22,575m、市内延長 5,400m）は、宝満山を源とし、博多湾に注ぐ二級河川です。山田2丁目にある「御笠の森」がその名の由来です。史跡を結ぶふるさとの川として桜の並木に整備し市民の憩いの場となっています。

さらに上流に行くと、水城跡から大宰府政庁跡や太宰府天満宮などを訪れることができます。

#### 運営協議会

北地区コミュニティ運営協議会は、上筒井区、下筒井区、山田区、雑餉隈町区、栄町区、仲島区、畑詰区の7地区が連携し、体育部会、まどか部会、青少年育成部会、福祉部会を中心に体育事業、文化事業、防犯活動等の事業を推進し、あらゆる年代層が参加・参画でき共感しあえる行事を実施し、人と人の繋がりofたいせつ重要さを学び、思いやりの心を育て地域がひとつにまとまり、行動できることを目指し北地区の皆さんが 住みやすいコミュニティづくりを行っています。

#### 主な行事

- |    |         |  |
|----|---------|--|
| 4月 | 青少年育成部会 | 定期巡回（毎月第2・4金曜日）                        |
|    | 青パト隊    | 特別巡回（夏・冬・春休み）パトロールの実施<br>防犯パトロール活動（年間） |
| 5月 | 体育部会    | グラウンドゴルフ大会                             |

- 7月 体育部会 ユニカール大会  
 青少年育成部会 警察と地域との懇談会  
 福祉部会 福祉活動と資質向上のための地域福祉委員研修会  
 まどか部会 おおの山城大文字まつりはパレードの参加のみこし製作（9月）
- 8月 青少年育成部会 青少年育成カルタ大会。  
 北フェス2018
- 9月 おおの山城大文字まつり受火式、パレードに参加
- 10月 北地区コミュニティ運営協議会、公益財団法人大野城市体育協会の主催  
 歩こう大会  
 軽スポーツ並びに幼児コーナー  
 福祉体験コーナー  
 MADOKA れくスポ祭
- 11月 御笠川環境整備の御笠川・牛頸川・平野川フェスタ2018  
 福祉部会 番茶の会  
 青少年育成部会、北地子連と共催 ドッチビー大会
- 1月 芸能・文化発表会
- 年間を通じて多種多様な行事を行っています。

## 2. 北地区の年代別人口の推移

(注 上段:北地区 下段:大野城市)

| 人口<br>年度 | 北地区の<br>人口          | 年少人口<br>(14歳以下)                 | 生産年齢人口<br>(15~64歳)               | 高齢者人口<br>(65歳以上)                |
|----------|---------------------|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 平成30年度   | 18,031人<br>100,069人 | 2,722人(15.1%)<br>15,795人(15.8%) | 12,013人(66.6%)<br>63,294人(63.2%) | 3,296人(18.3%)<br>20,980人(21.0%) |
| 平成33年度   | 18,228人<br>101,003人 | 2,793人(15.3%)<br>15,784人(15.6%) | 11,988人(65.8%)<br>63,229人(62.6%) | 3,447人(18.9%)<br>21,990人(21.8%) |
| 平成36年度   | 18,404人<br>101,721人 | 2,834人(15.4%)<br>15,647人(15.4%) | 11,975人(65.1%)<br>63,165人(62.1%) | 3,595人(19.5%)<br>22,909人(22.5%) |
| 平成40年度   | 18,587人<br>102,103人 | 2,811人(15.4%)<br>15,126人(14.8%) | 11,992人(65.1%)<br>63,083人(61.8%) | 3,784人(19.5%)<br>23,894人(23.4%) |

(第6次大野城市総合計画の人口構成資料より抜粋)



### 3. 地域の主な問題・課題

#### (1) 青少年の健全育成と防犯対策

青少年を取り巻く生活環境は大きく様変わりしつつある中で、北地区コミュニティ（大野北小、御笠の森小校区）の平成29年1月～12月までの街頭犯罪は、減少していますが、犯罪に巻き込まれないよう青少年健全育成及び区域内の防犯に努め、巡回パトロールを継続して実施し、地域の人々が青少年への関心を持ち、声掛け（あいさつ）や見守り等により児童、生徒の安全確保を図る必要があります。

#### (2) 西鉄天神大牟田線の高架事業に伴う交通安全対策

西鉄天神大牟田線の高架事業が数年で完成の運びとなることにより、側道へのアクセス道が増加し、雑餉隈町区、栄町区では小学校への通学において交通事故の危険性も高まっています。このようなことから特に高齢者や子どもたちが交通事故から身を守るための対策を講じる必要があります。

#### (3) 御笠川越流の危険からハザードマップの作製と地区での防災訓練

北地区は、御笠川沿線では低地に古くからの住宅が立ち並んでいます。これまで、豪雨により御笠川から越流し、水害を起こしたことが何回かありました。また、平成30年7月には御笠川が危険水位を越し沿線住民に避難勧告が発令され避難を余儀なくされています。

このようなことから地区をあげての防災訓練の実施、ハザードマップの作成等、地域が一体となった活動を展開することが必要です。

#### (4) 高齢者支援や認知症の理解など地域で見守り支えていく環境づくり

地域福祉委員研修会では、近年支援が高齢者のみの世帯、認知症高齢者が増加していく流れが予測され、介護予防、今後生活支援などを含めて身近な地域全体で高齢者を支える支援が必要と考えられます。また、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を地域であたたかく見守り支える研修並びに福祉推進委員相互の情報交換、資質の向上のため継続して研修を行う必要があります。

#### (5) 遊歩道が整備された御笠川の景観の保全

北地区は、住宅地のなかを遊歩道が整備された二級河川御笠川が流れる自然豊かな地域です。豊かな自然や景観の保全のため、河川の堤防や公園の草刈り等を実施し、動物の糞等の散乱を防止する必要があります。

## (6) 子育てから高齢者までの世代間を越えた交流

核家族化の進行や就労環境の変化により、さまざまな悩みを持つ家庭が増えてきており子育ての親を対象に、子育てサロン（相談、交流の場）支援の場を講じる必要があります。

また、小学校、中学校、PTA、高齢者と連携してレクリエーションを組入れた三世代交流を推進する必要があります。

## II. 地域の将来像

「みんなが安全で

安心して暮らせるまち」

### 【 将来像の考え方 】

北地区は、住宅地のなかを遊歩道が整備された二級河川御笠川が流れる自然豊かな地域です。

このような地域の特性を活かして、地域住民が共働して子どもたちを豊かに育み、お互いが支え合って恒久的に安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

## III. 地域の目指す姿

### (1) 安全安心な地域防災活動のできるまち

子どもたちをはじめ地域みんなで協力して犯罪や交通事故から身を守り、いつ発生してもおかしくない地震の被害や風水害を最小限に止めるために、地域住民が力を合わせて安全安心なまちづくりをします。

### (2) 子育て家庭への共に思いやり支え合うまち

核家族化の進行や就労環境の変化、近隣関係の希薄化などによる家庭や地域における子育て力の低下に伴い、さまざまな悩みを持つ家庭が増えてきており、子育てを社会全体で支援するまちづくりをします。

### (3) 高齢者が健康で楽しく過ごせるまち

高齢者の集える場の確保と健康づくりを推進して笑い声が絶えないまちづくりをします。



(4) 世代間を越えた交流・連携ができるまち

生涯教育を推進して世代を越えた交流を生み出し、コミュニケーションの活発なまちづくりをします。

(5) 地域の発展と情報が伝達できるまち

イベントや地域での出来事などをお知らせし、地域の中で風通しのよいまちづくりをします。

男女共同参画の推進と時代の変化に対応した、人材の育成並びに確保のため組織、事業等のあり方を見直します。

(6) 自然環境を守り美しいまち

豊かな自然や景観の保全やゴミの減量を推進し、企業等を含めた美しいまちづくりをします。

## IV. まちづくりの具体計画

(1) 安全安心な地域防災活動のできるまち

| 事業名         | 事業内容  | 主体 | 予定時期     | 備考 |
|-------------|---|----|----------|----|
| 安全安心な地域防犯事業 | 犯罪等を未然に防止し安全で安心して暮らせる社会をつくるため、警察、消防をはじめ北地区の区や各種団体、事業所との連携強化を行う。<br><br>・青色回転灯装備の防犯パトロールによる活動<br>・定期巡回パトロール<br>・春・夏・冬休み巡回パトロール |    | H30 (継続) |    |
|             |   |    | H31      |    |
|             |   |    | H32      |    |
|             |   |    | H33      |    |
|             |   |    | H34      |    |
| 防災意識の向上事業   | 防災意識の普及活動やハザードマップ、防災訓練により、災害時における災害対応力や防災意識の向上を図る。<br><br>・警察と地域との懇談会<br>・防災訓練、避難訓練<br>・ハザードマップの作成                            |    | H31      |    |
|             |   |    | H32      |    |
|             |   |    | H34      |    |
|             |   |    | H33      |    |
|             |   |    | H35      |    |

(2) 子育て家庭への思いやり支え合うまち

| 事業名       | 事業内容  | 主体 | 予定時期                                       | 備考 |
|-----------|---|----|--|----|
| 地域生活の支援事業 | 北地区公民館にて実施されている子育ての親を対象に、子育てサロン（相談、交流の場）支援を行う。<br>（継続して行う）<br>・子育てサロン<br>・青少年育成カルタ大会<br>・青少年育成ドッチビー大会 |    | H30（継続）<br>H31<br>H32<br>H33<br>H34<br>H35 |    |
| 子育て研修会事業  | 北地区子育てサロン合同研修会の実施する。<br>（年に1回）  |    | H31<br>H32<br>H33<br>H34<br>H35            |    |

(3) 高齢者等が健康で愉しく過ごせるまち

| 事業名        | 事業内容   | 主体 | 予定時期                                | 備考 |
|------------|--|----|-------------------------------------|----|
| 地域生活の支援事業  | 高齢者の自立した生活を支援し、日常生活の利便性の向上を図る。また、認知高齢者の増加に対し認知症に関する理解の促進を図る研修会（北地区地域福祉委員研修会）及び認知症訓練を継続して行う。<br>・地域福祉委員研修会<br>・番茶の会（継続） |    | H31<br>H32<br>H33<br>H34<br>H35     |    |
| レクリエーション事業 | 高齢者に対して福祉レクリエーションを取り入れ地域交流と健康増進を推進する。<br>・ごもくお手玉<br>・わなげ<br>・バグゴー  |    | H31（継続）<br>H32<br>H33<br>H34<br>H35 |    |



(4) 世代間を越えた交流・連携ができるまち

| 事業名     | 事業内容   | 主体 | 予定時期   | 備考 |
|---------|--|----|--|----|
| あいさつ運動  | 児童の通学時に合わせてあいさつ運動と交通安全を呼びかける。  |    | H30 (継続)<br>H31<br>H32<br>H33<br>H34<br>H35                                  |    |
| 三世代交流事業 | 小学校、中学校、PTA、高齢者と連携してレクリエーションをたのしみ交流する。<br>・グラウンドゴルフ大会<br>・ユニカール大会<br>・歩こう大会<br>・どんど焼き (新規)<br>・七夕まつり (新規)<br>・おおの山城大文字まつり受火式パレード参加<br>・MADOKA れくスポ祭<br>・芸能・文化発表会 |    | H31 (継続)<br>(新)どんど焼き 検討<br>H32 (継続)<br>(新)七夕まつり 検討<br>H33 (継続)<br>H34<br>H35 |    |

(5) 地域の発展と情報が伝達できるまち

| 事業名      | 事業内容                                      | 主体 | 予定時期                                 | 備考 |
|----------|---|----|--------------------------------------|----|
| 広報事業     | 広報として、イベント等情報を毎月発行している北コミ通信で行う。           |    | H30 (継続)<br>H31<br>H34<br>H34<br>H35 |    |
| 人材の育成・確保 | 組織や事業等を見直すとともに、男女共同参画の推進地域リーダーを育てる研修等を行う。 |    | H31 (継続)<br>H32<br>H33<br>H34<br>H35 |    |

(6) 自然環境を守り美しいまち

| 事業名      | 事業内容  | 主体 | 予定時期                            | 備考 |
|----------|---|----|---------------------------------|----|
| クリーン作戦事業 | 企業等を含めた環境美化と環境教育を目的に、御笠川の清掃活動（草刈等）また、北地区の公園の環境美化を行う。  |    | H31<br>H32<br>H33<br>H34<br>H35 |    |
| 御笠川フェス事業 | 御笠川堰堤を利用したイベントの開催を行う。<br><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・こいのぼりの設置</li> <li>・いかだ大会</li> <li>・ウォークラリー</li> <li>・北フェス</li> <li>・歩こう大会</li> </ul> |    | H32<br>H33<br>H34<br>H35        |    |

※ 従来 of 行事は、原則継続して行う



(御笠川 (北コミュニティから下流方向))

平成 31 年 3 月

北地区コミュニティ運営協議会  
会長 岩瀬 利春